

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信  
2010.11.01 Vol. 5



Building Communities -- Bridging Continents



## 越前がに漁 (福井県越前町)

福井県の冬の風物詩、それは“海の赤い宝石”越前がにです。  
毎年11月6日は越前がに漁の解禁日となり、一斉に町は賑わいます。  
ズワイガニの中でも「越前がに」というブランドで呼ばれるカニは、  
福井県の三国、越前、敦賀、小浜の4つの漁港から揚がるカニだけを指し、  
そのブランドの証として、特別な黄色のタグが付けられます。  
ズワイガニの中でもとりわけ高価なのは、カニの漁場から一番近く、  
そのために新鮮なカニの味覚を提供できるからなのです。

## Contents

ガバナーメッセージ	P 2
IM1組開催報告	P 3
IM5組開催報告	P 4
地区委員長メッセージ	P 5 ~ 9
ハイライトよねやま	P 10
9月会員数の増減および出席率表	P 11
9月入退会リスト	P 12
文庫通信	P 12



第2650地区2010-11年度スローガン  
「ロータリーをよく学び、  
変化を知り、  
忘れたことを思い出そう」



今回は、日本のロータリーの歴史に触れてみることにしました。

日本にロータリー運動をもたらすきっかけを作ったのは、福島喜三次であります。

彼は三井物産に入社し、1900年(明治38年)に渡米、1912年頃、ダラスにある三井物産の、現地法人の支配人に就任しました。そして、1915年頃ダラスロータリークラブに入会しております。また、三井銀行の役員であった米山梅吉氏が政府派遣財政経済委員の一人として渡米した際、その案内役を務めた福島氏からロータリーの事を聞き、関心を寄せるとともにアメリカのいくつかのロータリークラブを視察したようです。

1920年1月に帰国した福島氏は、アルバート・アダムス国際ロータリー連合会会長から日本にロータリークラブを設立してほしいと依頼され、米山氏とともに奔走しましたが、創立に必要な数のチャーターメンバーを集めることができなかったようです。

エステス・スネデコル連合会新会長から再度依頼を受けた両氏が努力した結果、1920年10月20日、チャーターメンバー 24名が集まって創立総会が開催され、東京ロータリークラブが誕生しました。初代会長には米山梅吉氏が、そして幹事には福島喜三次氏が就任しています。

その後、関東大震災の試練を乗り越え、1922年には大阪ロータリークラブが、1924年には神戸ロータリークラブと名古屋ロータリークラブが、さらに1925年には、京都ロータリークラブと横浜ロータリークラブが誕生しました。戦火が激しくなった1940年(昭和15年)当時、日本には25のロータリークラブができあがっていたと考えられますが、同年8月には、静岡、大阪、岡山、京都の各ロータリークラブが、そして9月には東京ロータリークラブが次々と解散していきました。しかし、クラブは解散しましたが、例会の行なわれていた曜日にちなんで火曜会、水曜会などとして会合を続けていたようです。

戦後、日本のロータリーが復活したのは、1949年の東京ロータリークラブが最初で、その後次々と復活を果たしました。

それからの我が国のロータリーの拡大発展は、目覚ましいものでありました。1997年6月末には13万1731人と会員数が最高に達しました。

我が2650地区は1996年5月末には6805人と、会員数が最高に達しましたが、現在はクラブ数96(日本一)、会員数4708人(2760地区(愛知)の4917人に次いで2位、2010年7月末現在)であります。

国際ロータリー 第2650地区 ガバナー **栗田 幸雄**

# 「人間は困難あって、初めて光るもの」～地球のステージ～ より

草津RC・IM実行委員長 角 沙門 (すみ さもん)



閉会式典終了後は、多くの会員のご参加のもと懇親会を行いました。栗田ガバナーには精力的に各テーブルをお廻り頂き、各クラブ会員との親睦を深めて頂きました。

終わりに「手に手つないで」の大きな輪の中で無事IMは終了致しました。

今回のIMが、参加いただいた会員様の今後の活動の糧となりますればホストクラブとしてこの上ない喜びであります。

最後になりましたが、ご来賓を始めご参加頂きました560名の会員の皆様に心より御礼申し上げ、第1組IMの報告とさせていただきます。ありがとうございます。



去る9月11日(土)大津プリンスホテルに於いて第1組IMを開催いたしました。

大会テーマは「You are the Key」であります。

嘉田滋賀県知事代理として田口副知事をご来賓に迎え、草津クラブの40周年事業として提唱し、昨年7月に創立を得たインターアクトクラブ光泉中学高等学校の吹奏楽部53名による開会演奏のあと栗田ガバナーの開会点鐘で式典がスタート致しました。

ゼネラルリーダーは川端五兵衛パストガバナーにお願い致しました。

開会式典終了後、国際理解講演「地球のステージ」～国境なき大地～が、NPO法人地球のステージ代表理事桑山紀彦氏により開演されました。このステージは、医師である桑山氏の愛情に満ちた活動を、映像と音楽、そして語りで表現したライブステージであり、参加された皆様は強い共感をお持ち頂けたと思います。



## 「地域を育み、大陸をつなぐ」

福井あじさいRC・実行委員長 淡島 洋 (あわしま ひろし)



2010年9月25日(土)にRI第2650地区第5組 IMが福井県民ホール(AOSSA 8階)で福井あじさいRCのホストで開催されました。ゼネラルリーダーには神谷保男(敦賀RC)パストガバナーをお願いいたしました。テーマをRIテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」とし、神谷GLの御指導で、記念講演をメインに開催することとしました。また、全体を3部構成とし1部では主催者あいさつ、参加者紹介、来賓祝辞などとし、2部では神谷GLのあいさつにはじまり、記念講演。3部ではロータリー財団のお知らせ、次期ホストクラブ発表、栗田ガバナー講評などで、およそ4時間で終了し、場所を変えて大懇親会を開催しました。第5組は福井県全域をカバーして、19クラブ、会員数821名で今回は県外参加者を含めて594名の参加をいただきました。特に、親クラブの福井RC、栗田ガバナーの福井北RC、子クラブの福井水仙RCからは全員登録をいただきました。また、今回は各クラブへ出席を求める御挨拶をしなかったにもかかわらず、多くの登録者をいただきました。

2部の記念講演では「多くの人達との出逢いの中で」と題して、松島トモ子氏(東京恵比寿RC 2005~2006年度

会長)に御自身の生い立ちから始まり、アフリカでのライオンや豹に2度も襲われた経験をとってもリアルに話されました。近年では“車いすダンス”で優勝をされたり、またその会の理事を務めておられるなど素晴らしい講演をされました。開場全員が微動だにせず聞き入っておられました。次に、「大陸をつなぐ」と題して、ロバートFクワン氏(フィリピン・マカティ RC 2002~2003年度会長・2013~2014年度RID3830地区DGN候補者)にフィリピンと姉妹クラブを通しての奉仕プロジェクトを、特に我が福井あじさいRCとのつながりなどを話されました。両氏とも中身の濃い講演だったので、是非報告書をご覧いただきたいと思います。

懇親会はバスで移動をしていただき、福井商工会議所地下1階のコンベンションホールで盛大にパーティを開催し、福井の味を楽しんでいただきました。

栗田幸雄ガバナー、神谷保男ゼネラルリーダー、菅原淳輔地区幹事長の懇切丁寧なご指導のお陰で成功裡に修了したことに衷心より感謝いたします。ありがとうございました。

## ロータリー財団月間に際して

ロータリー財団委員長 **宮崎 茂和** (みやざき しげかず) 福井RC



11月、今年もロータリー財団月間がやってきました。私が今この原稿を書いている時にも、世界中で5歳以下の子どもが3秒間に1人が亡くなっています。飢餓、貧困、感染症を含む疾病、母子保健の不全、その原因となる水、医薬品などの不備、識字率の極端な低下などが依然として存在しているのを皆さんはよくご存知の通りであります。

一方、日本国内ではどうでしょうか。超高齢者の一人住まい、そして孤独死、地域コミュニティの中での人間関係の希薄化、過激な犯罪の増加、1日に約100人にもなる自殺、また人間としての総合的な教育の衰退などなど、数えていくと気が遠くなります。このような情勢にあって、クリンギンスミスRI会長は“地域を育み、大陸をつなぐ”というテーマを示されました。このテーマはあくまで「超我の奉仕」に基づいた私達の奉仕活動であるのが基本であります。その姿を見える形にするのが、ロータリー財団であり、その人道的プログラム、教育的プログラムであります。

2650地区では財団が未来の夢計画を行なうに当って、栄えあるパイロット地区に選ばれ、これに参加するための資格を地区として取得、またその活動計画も発表、現在はこれらのプロジェクトが進行中であります。このようなパイロット地区としての参加は2650地区としては地区が設定されてから初めてのことでありますが、その準備、プログラムの企画・構成、財団への資金協力などが

抜群に良いので、世界のモデル地区にしようか? という話しも聞いています。

このような素晴らしい夢計画に参加することが出来たのは、我が地区がRI理事2名、トラスティ1名をはじめ先輩各位のご尽力のおかげであり、現在も地区で会員一人一人の財団に対する意識が高いことと、財団への寄付実績、プログラムへの積極的な参加など素晴らしい2650地区であってこそ、と言うべきでありましょう。私達の誇りであり、財団に対する地区としてのステータスでもあります。

さあ、未来の夢計画が始まり、すでに新地区補助金の配分も終わりました。地区のどこかで1ヶ月間に3.5件の財団プロジェクトをどこかのクラブがやっていることとなります。すごいと思いませんか?

私達は地域でのロータリーというブランドイメージを高揚するためには「Enter To Learn, Go Forth To Serve」であり、例会での親睦と自己研鑽、そしてクラブから発信する奉仕活動に汗を流すことが大切ではないかと思えます。財団への活動資金を増進、そして資金を活用するクラブの活性をぜひ維持、増強して欲しいと思えます。

最後になりますが、地区財団委員会に所属されている皆さんの活力があってこそ実現したパイロット地区への参加であり、お一人お一人に深甚なる敬意と感謝を述べたいと思えます。

## ロータリー財団資金推進委員会の今後の活動

ロータリー財団資金推進委員長 **中井 昭典** (なかい あきのり) 京都市中RC



(未来の夢計画)における地区ロータリー財団委員会の再編成に伴い、今までの財団寄付:ポリオ委員会は、栗田年度より資金推進委員会とWCSポリオプラス委員

会と分かれて活動する事になりました。

資金推進委員会の役割は、年次プログラム基金と恒久基金の地区寄付目標に向けた活動の調整を計り、寄

付の懇請を行い、さまざまな寄付形式についてロータリアンに情報を提供し、クラブを支援する委員会です。

皆様と共に情報を共有し、更なるご理解いただける財団を目指して活動してまいりたいと委員一同思っております、ご協力の程、宜しくお願い致します。

年次寄付は3年後、寄付金と投資利益の50%が地区にDDFとして地区資金となります、マイナス利益の場合でも寄付額の50%は地区資金となります、皆様の貴重な基金で様々な奉仕活動に補助金やグローバル事業に使われます、グローバルにはWFの補助も使えます、クラブの基金では出来ないような資金で意義のある事業が可能です。

恒久基金は大きなR財団の定期預金です、将来の大きな世界中のロータリアンの奉仕事業を支える基金です、当面の目標は2025年には10億ドルとなっています現在では遺贈基金を含めて4億ドルとなっています。

年次寄付の一人当たりの地区目標は160ドルです、財団と米山はあくまでも一人ひとりのロータリアンのドネーションです。「入りて学び、出でて奉仕せよ」と言う先輩方の言葉を今一度ロータリーを通じて学びませんか。友情と奉仕の大切さを分かち合いましょう。

最後に2650地区の年次寄付額は長年日本34地区の中で1位の座でしたが、4~5年はその座を他地区に渡しています、前年度では当地区178ドル余り1位は194ドル余りです、その差16ドル日本円で1500円の差です、やはりNo.1を目指して地区の奉仕基金を潤沢にし、世界平和の事業を進めたいものです。

ロータリーカードの活発な使用と入会も合わせてお願い致します、前年度で日本の寄付額はポリオ基金に1800万円の寄付が出来ました、ポイントは個人の年次寄付となります。

### 本年度の地区の重点目標

- (1) 年次寄付1人当たり160ドル(EREクラブの100ドルを基本で善意60ドルの推進)
- (2) ポールハリスフェロー：マルチプルポールハリスフェローの推進(会員5名当り1人の推進)
- (3) ポールハリスソサイティの増進(毎年1000ドルを)年次寄付又は恒久基金へ
- (4) 恒久基金ベネファクター(1000ドル)または協力金(1000ドルの分割)実施  
(会員15~20名当り)1名
- (5) 遺贈友の会の入会の促進
- (6) 慈善年金の促進
- (7) アーチクランフソサエティ(2万5000ドル)大口寄付増進
- (8) 大口寄付の増進(年次寄付、恒久基金、用途指定寄付の現金を合わせて1万ドル)の増進
- (9) ロータリークレジットカードの使用と更なる新規入会のお願い

## ポリオプラス・WCS委員会設立について

ポリオプラス・WCS委員会 古川 浩二 (ふるかわ こうじ) 京都洛西RC



本年度よりロータリー財団の中に出来ました「ポリオプラス・WCS委員会」でございます。これは2650地区がロータリー財団の「未来の夢計画」の中でパイロッ

ト地区になり財団の規格に従い設立されたのであります。どうかご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 「ポリオプラス」に付きまして

ご存知のようにRIの最重点課題であります、ポリオを世界からなくす運動は限りなく続きます。何故そんなに続くかと申しますと、ポリオワクチンの接種は生後3ヶ月～18ヶ月の間に2回のワクチンを接種(飲む)必要があります。又 接種した子供たちは発症することは少なくなります、このワクチン接種は限りなく続けなければなりません。理由は、幼児・子供達は世界中で毎日、毎日、誕生して来るのであります。この新しく誕生した子供達には「ポリオ」の予防接種をしなくてはなりません。だからワクチン投与は限りなく続けなければならないのであります。これに於いて、ポリオ撲滅に対する・募金・広報・そして奉仕活動を行ってまいります。又どのようにして各クラブの奉仕活動に地区として結び付け協力し合っていくのかを考え共に話し合う場を作る委員会であります。委員会としてお願いがございます。ポリオは未だ世界からなくなったわけではありません。ポリオを撲滅するには莫大な資金が必要となります、そこで発生したビルゲイツ財団

との「2億ドルチャレンジ」は、「ビルゲイツ財団が3億5500万ドル」を出し、国際ロータリーが2億ドルを出します、と約束をしたのです。だから必ず達成しなければなりません。残念ながら2650地区は目標に未だ達成できなくて苦慮しています。誇り高き2650地区のロータリアンの皆さん、寛大なるご理解をいただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

## 「WCS」に付きまして

今までは世界社会奉仕として地区でミッションとして、活動を行ってまいりましたが、2010～2011年度よりこの奉仕活動は(地区ミッション)として「財団奉仕事業委員会」で活動することになりました。したがってこの委員会活動のあり方は、地区内96クラブの国際奉仕委員会の国際的な奉仕活動を経済的な面から「グローバル補助金」支援協力を行い、又、情報を提供(支援国)そして募金活動と広報をしたりする委員会であります。新しい委員会の設置に当り各クラブではこれに付いてどの様に考えていらっしゃるかを訂正したいと思います。

## 「財団資金を活用しましょう。」

財団補助金委員長 大塚 紀夫 (おおつか のりお) 武生府中RC



ロータリー財団は、寄付をして終わりではありません。ロータリー財団は、集まったお金をどこかの福祉団体や公共団体や発展途上国の政府等へ、そのまま寄付するという奉仕手段はとりません。寄付で集まったお金は、すべてロータリアンの手で直接活用します。ロータリアン自身が世界や地域社会の奉仕ニーズを調査し、奉仕事業を計画し、奉仕活動を実施し、奉仕の成果を検証します。

ロータリー財団の資金を世界や地域社会の奉仕ニーズに適切に活用するために、財団資金は、世界本部が用途を決定する国際財団活動資金(WF)と地区やクラブが用途を決定する地区財団活動資金(DDF)にシェア

して活用していきます。3年前の年次寄付全額の50%と恒久基金資産運用益の50%がそれぞれWFとDDFにシェアされます。WFは、世界中のロータリアンが活用するもので、当然私達の地区内のロータリアンも活用出来ます。DDFは、その地区内のロータリアンだけに用途裁量が委ねられているものです。

財団補助金として、新地区補助金がありますが、この新地区補助金は、DDFからの活用となります。地区がクラブ様のそれぞれの奉仕プロジェクトをいくつかまとめて1件の新地区補助金として、財団へ申請します。この新地区補助金に参加することで、クラブ様はDDFを使用することになります。新地区補助金プログ

ラムの概要は、次の通りです。

## 新地区補助金プログラム

### ●地区に一括して授与される補助金

DDFの50%以内

- 事業分野はクラブと地区の自由裁量
- 1プロジェクト当りの補助額に上限も下限もない。
- 地元地域社会でも海外でも事業を実施できる。
- 使用管理表、収支管理表、会計明細書、領収書等を地区で保管しておく。
- 時々、無作為に地区に対して財団本部からの監査がある。
- DDFのみでWFは使えない。

- 音楽や文学・歴史等に関する奨学金。  
(海外留学でも地元の大学に行く場合でも可)
- 経済的に困っている学生への学費の支援
- 使途指定で現金贈与が出来る。
- 職業研修チーム派遣(期間、人数ともに自由)
- 職業訓練の支援
- 災害救援

- 海外のクラブとの協力事業。
- 地元地域社会での奉仕事業。
- 海外での奉仕事業  
(ロータリーのある国でもない国でも可)
- 海外での施設の改築も可。  
(地元、国内での施設の改築も可)
- その他、社会的ニーズの強い奉仕事業(人道的なもの)

事業例

国際奉仕プロジェクトを企画する時、クラブ様が現金を準備し、地区にDDFの使用を申し込み、基本資金計画を立てます。その上で、グローバル補助金の申請を財団に致します。そうしますと、現金資金に対しては、その1/2の額、DDF活用資金に対しては、それと同額が、WFから補助されます。このWFをプラスした額がその国際奉仕プロジェクトの総資金額となります。グローバル補助金プログラムの概要は次の通りです。

クラブの皆様は、新地区補助金でDDFを活用し、グローバル補助金でDDFとWFを活用することになります。すなわち、DDFもWFも財団資金はすべて皆様の手で活用されるということです。財団資金を積極的に活用し、世界でそして地域社会で私達の支援を必要としている人々のために御活躍下さい。

## グローバル補助金プログラム

### クラブ&地区計画補助金

補助金の下限\$15,000.~上限\$200,000.

クラブ・地区が6つの重点分野に関するプロジェクトを立案実施するもの。

現金やDDFの提唱者寄付にWFがマッチングされプロジェクトが実施される。(\$10万以上は、管理委員会の承認が必要)

WFとの組み合わせによりプロジェクトを実施する場合  
DDFに対しては1:1、現金に対しては1/2のWFが交付される

グローバル補助金は、次の6種類の重点分野に活用する。

- 平和と紛争予防/紛争解決
- 水と衛生設備
- 疾病予防と治療
- 基礎的教育と識字率向上
- 母子の健康
- 経済と地域社会の発展

- 6種類の重点分野を専攻する奨学金  
(1年から4年間)(WF50%、DDF50%)
- 6種類の重点分野に関する職業研修チーム派遣
- 6種類の重点分野に関する多額のマッチング・グラント
- その他、6種類の重点分野に関する事業
- 改築・増築も可能
- ロータリーのある国でのみ事業実施可

事業例



## 事業はロータリアンの心を育む

財団地区事業委員会 委員長 貴志 英生 (きし ひでお) 福井東RC



膨大になってきた財団のプログラムを簡素化し、より身近なプログラムにすることが「未来の夢計画」の大きな目的になっています。その経過で当地区がパイロット地区に指定されたのに伴い、財団の小委員会が大きく変わっています。当委員会は3つの大きな事業を抱えることになりました。第1にVTT(Vocational Training Team)関連、第2に奨学金・学友関連、そして第3に地区WCS関連で、財団のプログラム以外にも地区独自のポリオミッションも行います。

GSEに関しては、これまで約7万人のプログラム参加者があり、累計で約1億ドルを支出しています。しかし、この制度を維持するために年齢や期間など様々な例外規定を認めてきて、本制度の変革が必要になっていました。同じ様なことが国際親善奨学金にも言えます。この奨学金については、これまで約4万人に累計で約5億3千ドルを支出していますが、以下の点などで問題となっていました。

①申し込みから決定までが時間がかかるということ。②支出対象が特定されず本来の目的からはかけ離れた奨学生も誕生していたということ。そして、③諸外国の学費高騰に対して本奨学金の支出金額が相対的に低くなり、受給者にとってはその重要性が薄れてきたことなどです。

以上の様なことから、GSEと国際親善奨学金に関して大きな改革が行われました。その結果、6つの重点分野に合致すればグローバル補助金を利用することで、より大きな金額の支給が望めるようになりました。奨学金に関してはその関心度が増すことになり、VTTに関しても医療チームを派遣するなど、より大掛かりな事業が実施可能になりました。ただ実際のところ、この制度改革には既にいくつかの批判も出ています。かえって使い勝手が悪くなり、その申請に手間がかかるということなどです。特に奨学生に関しては、財団を仲介したホストRCとの繋がりが薄くなり、他の奨学金制度では得られない留学体験が失われるという問題が指摘されています。こういった問題点に関しては、今後パイロット地区としてははっきりと意見を述べ

てゆく必要があると思います。今年度の事業としては、VTTとして2660地区と共に7930地区(米国ボストン・ハーバード大学)から慢性腎臓病に関する医療チームを受け入れます。奨学金関連では、残念ながらグローバル補助金での奨学生は誕生しませんでした。7件の新地区補助金(一部オプションも含む)による奨学金を支給しています。

最後にWCSに関してお話しします。今年度は、グローバル補助金を利用したミッション敢行を目的として地区の「世界社会奉仕委員会」が「財団地区事業委員会・ミッション担当」として活動することになりました。パイロット地区での支援を考え、フィリピン・マニラ近郊を対象として「都市型貧困層の母子健康増進・疾病の予防」につながるプロジェクトを企画しました。これは既に財団本部に提案は承認され、現在申請中です。総額約22万ドルで、フィリピン3810地区との事業となります。ただ、ポリオ関連に関する支出は財団の補助金では認められず、この事業はこれまで当地区が行ってきたポリオミッションとは全く異なるWCSとなりました。そのため、皆様方からいただいた特別基金を利用して、これまで通りの世界社会奉仕活動を別途企画することになりました。支援地はフィリピン・レイテ島およびマニラ近郊で、来年の2月にミッションを行う予定です。「出でて奉仕せよ」の精神のもと、多くの皆様のご参加をお待ちしております。その他の地区WCSとして、ケニアの「水と衛生設備」に関連した事業(総額約20万ドル)にDDFを使用します。また、トルコAnkara-Gaziosmanspasa RCとは「疾病予防と治療」に関して4万5千ドルの事業を行います。これらはいずれもグローバル補助金の事業です。

ロータリーの組織は前世紀に作られた組織で、所々制度疲労が見られていることは事実だと思います。しかし、この組織からは紛れもなく、今の時代が要請する「人」を作る能力が保たれていると考えます。そして、皆さまのお志こそがこの組織力を底支えし、これらの事業を通してロータリアンの「心」が育つものと信じます。


**ハイライトよねやま** Vol. 128

 問い合わせメール: [highlight@rotary-yoneyama.or.jp](mailto:highlight@rotary-yoneyama.or.jp)

 米山記念奨学会ホームページ: <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

## 1. 寄付金速報 — 米山月間へご協力ください —

9月までの寄付金は前年同期と比べて4.0%増、約1,380万円の増加となりました。普通寄付金が2.3%減、特別寄付金が13.7%増と、これまで比較的好調に推移していましたが、米山月間である10月前半の寄付実績はここ数年の中で最も低く、厳しい出足となっています。

## 2. GETSで米山記念奨学事業を紹介

9月8日に東京都内で開催されたガバナーエレクト研修セミナーで、米山学友の駿溪スルタニトロペカイさん(アフガニスタン/1981-83/小山RC・土浦RC)と楊錦華さん(中国/2002-05/東京日本橋RC)がスピーチを行いました。駿溪さんは、アフガニスタンの首都カブールに教育・職業訓練のための「希望の学校」を設立し、母国の女性たちの自立を支援している活動を報告。また、東京米山友愛RCの初代会長を務める楊さんは、カウンセラーとの絆や、学友仲間らとともに新クラブ設立を目指した経緯や今後の抱負を語りました。



## 3. 10月は米山月間です!

米山奨学事業を1人でも多くのロータリアンにご理解いただくために、右記の資料をお使いいただけます。

### 映像で!

● ホームページから視聴できます。ご要望があればDVDをお送りします

### パワーポイントでプレゼン!

● ホームページからダウンロードできます。説明者用メモ付き

### 新ポスター

● ガバナー事務所宛にて送付。在庫ある限りクラブからも注文可能

### 新バナースタンド

● 巻き取り式でコンパクト収納。8,000円

## 4. 台湾学友会の日本人支援奨学金、第2期生決定

台湾米山学友会(正式名称:(社) 中華民國扶輪米山会)が日本のロータリーへの恩返しとして始めた「日本人若手研究者奨学金」にて、第2期奨学生に選ばれたのは、国立台湾師範大学大学院に留学中の笹川優子さんです。笹川さんには1年間、台湾学友会から毎月25,000台湾ドルが支給されるほか、学友会メンバーがカウンセラーとなって、台湾での留学生生活を物心両面で支えます。

9月25日、台湾学友会の許國文理事長(第3490地区パストガバナー)から奨学金を授与された笹川さんは「私が日本の大学に在学中の頃、台湾、中国などから来た多くの留学生の友人がロータリー米山記念奨学金の支援を受け勉学に励んでいたのが深く印象に残っています。これからの1年間、扶輪米山会の皆さまとの交流を通じて、台湾と日本の発展に貢献していきたいと思います」



## 5. 日中関係の悪化に奨学生・学友たちは……

日中関係の悪化が報じられている事態に、胸を痛める中国出身の米山奨学生・学友たちの声を紹介します。湯伊心さん(2005-07/横浜ベイRC)は、「ロータリアンから学んだ草の根交流は、たとえ国家間に亀裂が生じようとも決して影響を受けません。私たち米山奨学生・学友は、ロータリアンとの関わりを通じて、何か行動することができるはず」と、語ります。張旭梅さん(2005-06/東京広尾RC)は「こんな時期に、中国人学友である私の話など聞いてくれるのだろうか……と不安でした。話し終わった後、“中国のことを嫌わないでください! 私は中日友好を心から願っています”という思いで胸がいっぱいになりました」と、言います。

現役奨学生も複雑な気持ちで例会に参加しています。金静海さん(2010-11/横浜瀬谷RC)は、「肩身の狭い思いで座っていたら、世話クラブの皆さんが“国同士の出来事は金さんとは関係がないのだから心配しないで大丈夫”と、普段と変わらぬ温かさで励ましてくれ、どれほど気持ちが救われたかわかりません」と、嬉しい体験を話してくれました。

# 第2650地区 2010年9月会員数の増減 および 出席率表

## 京都府 42クラブ

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	9月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 (%)	女性 会員数
綾部	32	0	0	32	31	1	0	4	100.00	0
福知山	60	0	1	59	59	1	1	4	84.61	0
福知山西南	48	0	1	47	46	2	1	4	96.81	1
亀岡	35	0	0	35	35	0	0	4	100.00	0
亀岡中央	20	1	0	21	19	2	0	4	92.56	2
京丹後	33	0	0	33	33	0	0	4	90.60	2
京都	185	2	3	184	184	5	5	5	98.49	0
京都伏見	87	1	0	88	87	3	2	4	86.00	4
京都平安	29	0	1	28	29	0	1	3	77.16	4
京都東	102	1	0	103	102	1	0	4	95.03	0
京都東山	80	0	1	79	80	0	1	4	99.30	2
京都北東	34	0	0	34	34	0	0	5	88.77	0
京都城陽	31	0	0	31	31	0	0	3	94.33	1
京都桂川	34	0	1	33	34	0	2	4	87.62	0
京都北	64	0	0	64	65	0	1	4	98.35	0
京都南	211	0	1	210	212	0	2	4	94.98	0
京都モーニング	49	0	0	49	49	0	0	4	90.06	3
京都紫野	62	0	0	62	60	2	0	3	100.00	0
京都中	42	0	0	42	41	1	0	3	97.54	0
京都西	112	0	0	112	112	0	0	3	98.72	0
京都西山	20	1	1	20	19	2	1	4	94.44	1
京都乙訓	33	0	0	33	32	1	0	3	84.06	0
京都洛中	79	0	0	79	78	1	0	4	100.00	0
京都洛北	66	1	0	67	66	2	1	4	89.72	0
京都洛南	35	0	0	35	35	0	0	4	83.91	1
京都洛西	47	1	1	47	47	1	1	4	90.39	6
京都洛東	34	1	0	35	35	1	1	4	94.96	0
京都嵯峨野	24	0	0	24	25	0	1	5	82.50	0
京都さくら	28	0	0	28	28	0	0	4	91.67	5
京都西北	48	0	0	48	48	0	0	5	88.78	0
京都西南	50	0	2	48	49	1	2	4	96.90	5
京都紫竹	43	0	0	44	43	0	0	3	80.12	0
京都朱雀	38	0	0	38	38	0	0	4	93.22	2
京都田辺	20	1	0	21	20	1	0	4	86.90	2
京都山城	36	0	0	36	36	0	0	4	96.97	0
京都八幡	29	0	0	29	27	2	0	4	92.19	1
舞鶴	26	0	0	26	27	1	1	4	94.42	0
舞鶴東	45	0	0	45	45	0	0	4	87.31	0
宮津	42	0	0	42	42	0	0	4	90.63	0
園部	26	0	0	26	26	0	0	4	100.00	0
宇治	39	1	0	40	39	1	0	4	100.00	0
宇治鳳凰	45	0	0	45	45	1	0	4	95.00	4
小計	2,203	11	13	2,201	2,193	33	24	3.9	92.50	46

## 奈良県 13クラブ

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	9月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 (%)	女性 会員数
あすか	53	0	0	53	53	0	0	4	91.13	0
五條	25	0	0	25	25	0	0	4	92.34	0
平城京	33	1	0	34	33	1	0	4	90.30	3
生駒	30	0	0	30	30	2	0	5	83.86	1
橿原	61	0	0	61	61	0	0	4	79.81	2
奈良	147	0	2	145	144	3	2	4	97.14	3
奈良東	41	0	0	41	42	0	1	5	95.33	0
奈良西	48	1	0	49	48	1	0	4	96.92	1
奈良大宮	69	0	0	69	69	0	0	4	91.78	0
王寺	22	0	0	22	22	0	0	4	92.97	2
桜井	48	0	3	45	47	1	3	5	87.42	0
大和郡山	49	0	0	48	49	0	1	3	91.76	0
大和高田	93	0	0	93	93	0	0	4	96.37	2
小計	718	2	5	715	716	8	7	4.2	91.32	14

## 福井県 19クラブ

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	9月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 (%)	女性 会員数
福井	119	2	0	121	115	6	0	4	67.08	4
福井あじさい	45	2	0	47	45	2	0	4	80.47	3
福井フェニックス	42	0	0	42	41	1	0	4	76.79	9
福井東	30	0	1	29	30	0	1	3	74.55	2
福井北	115	0	1	114	115	0	1	4	83.88	5
福井南	52	0	0	52	52	0	0	4	83.58	0
福井西	32	0	1	31	32	0	1	4	79.39	0
福井水仙	21	0	0	21	21	0	0	4	60.71	1
勝山	28	0	0	28	27	1	0	4	95.37	2
丸岡	36	0	0	36	36	0	0	4	88.57	0
三国	29	0	0	29	27	2	0	4	92.09	3
大野	27	2	1	28	28	2	2	5	77.04	2
鯖江	36	0	0	36	36	0	0	4	86.44	1
鯖江北	18	0	0	18	18	0	0	4	81.25	0
武生	63	0	0	63	62	1	0	4	79.03	2
武生府中	35	0	0	35	34	1	0	4	94.29	0
敦賀	39	2	1	40	37	4	1	4	88.16	0
敦賀西	21	0	0	21	21	1	0	3	87.30	1
若狭	33	0	0	33	32	1	0	4	94.65	0
小計	821	8	5	824	809	22	6	3.9	82.67	35

## 滋賀県 22クラブ

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	9月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 (%)	女性 会員数
びわ湖八幡	48	1	0	49	50	1	2	4	91.16	2
五個荘能登川	24	0	0	24	24	0	0	3	65.67	0
東近江	45	0	0	45	45	1	1	4	89.55	0
彦根	67	0	0	67	64	3	0	4	92.52	4
彦根南	64	0	0	64	62	2	0	4	91.62	0
湖南	34	1	0	35	34	1	0	4	98.30	2
草津	42	0	0	42	42	2	0	4	89.20	0
水口	44	0	1	43	43	1	1	4	96.65	0
守山	46	0	0	46	44	2	0	4	94.45	0
長浜	62	0	0	62	61	1	0	3	92.93	0
長浜東	66	0	0	66	65	1	0	4	91.76	0
長浜北	25	2	0	27	24	3	0	4	88.78	0
近江八幡	49	0	0	49	48	1	0	5	93.40	1
大津	103	0	1	102	100	4	2	4	100.00	0
大津中央	29	1	0	30	29	1	0	4	87.27	1
大津東	21	0	0	21	21	0	0	4	83.75	1
大津唐橋	18	0	0	18	18	0	0	4	80.82	0
大津西	23	1	0	24	23	1	0	4	97.42	0
栗東	31	0	0	31	31	1	1	4	90.66	1
高島	41	1	0	42	41	1	0	5	99.46	1
野洲	33	2	0	35	33	2	0	4	88.73	1
八日市南	53	0	0	53	51	2	0	4	90.97	2
小計	968	9	2	975	953	31	7	4	90.69	16

## 合計 96クラブ

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	9月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 (%)	女性 会員数
小計	4,710	30	25	4,715	4,671	94	44	4	89.98	111

■表作成にあたって  
 ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。  
 ・入退会者数、9月会員数および入退会者累計数は9月末現在です。  
 ・今年度の「期首会員数」は、平成22年7月1日現在の会員数です。

9月新入会員

クラブ名	氏名	職業分類
亀岡中央	西村 有史	設備設計
京都	大谷 直志	生命保険
京都	藪田 健二	都市銀行
京都伏見	伊藤 泰弘	教育漢字検定
京都東	浦上 一行	印刷
京都西山	萩原 暢子	大学教授
京都洛北	山羽 学天	幼稚園
京都洛西	多田 裕昭	楽器販売
京都洛東	中村 佳史	旅行代理業
京都田辺	岡本 茂樹	音楽
宇治	臼井 龍三	自動車学校
福井	岩崎 新	配管工事
福井	竹原 和行	貨物・運輸
福井あじさい	井ノ部 航太	団体役員
福井あじさい	輪内 誠一	総合建設工事
大野	乾 隆俊	僧侶
大野	及川 炎森	医師
敦賀	増山 淳大	通運
敦賀	田中 正美	警備保障
びわ湖八幡	福田 弘	精密機器製造
湖南	西岡 昌彦	業務請負
長浜北	宮元 藤士一	土木請負

9月退会会員

クラブ名	氏名
福知山	田村 吉住
福知山西南	村尾 之範
京都	森口 哲行
京都	岩本 清志
京都	荘司 敏博
京都平安	曾根 清
京都東山	辻中 正雄
京都桂川	奥田 英彰
京都南	佐々木 一郎
京都洛西	松崎 環治
京都西南	糀田 博
京都西南	大八木 梅太郎
水口	浅田 親司
福井東	町田 充幸
福井北	菅原 隆典
福井西	岡田 和夫
大野	松山 稲穂
敦賀	加藤 智二
奈良	丸山 千種
桜井	羽川 幸賢
桜井	奥田 道弘
桜井	辻 喜代一

9月逝去会員

謹んでお悔やみ申し上げます

クラブ名	氏名	日付・年齢
京都西山	松居 正和 様	9月28日ご逝去 享年81歳
京都洛東 (名誉会員)	家原 利兼 様	9月15日ご逝去 享年86歳
大津	田中 敬一郎様	9月13日ご逝去 享年90歳
奈良	梅本 勝 様	9月23日ご逝去 享年72歳

文庫通信 277号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年の記念事業の一つとして1970年に創設された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。

閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

贈呈資料から

「広報 (Public Relations) とは…」 田岡久雄 2010 45p

●申込先: 日本事務局 FAX (03) 3903-3781

「ロータリーマジック違いをもたらそう」江崎柳節2010 197p

●申込先: 江崎柳節 FAX (0568) 77-0239

「日本RC認証順位一覧」前岡志郎 2010 56p

●申込先: ロータリー文庫

「ロータリーの心と実践」 D.2660 2010 90p

●申込先: D.2660 FAX (06) 6264-2661

「我等の生業」行田さくらRC 2010 87p

●申込先: 行田さくらRC FAX (048) 564-3020

「マレーシア・ボルネオ島・サラワク州植林支援活動報告書」

上田東RC2010 [28p]

●申込先: 上田東RC FAX (0268) 21-3501

「心学の祖 梅岩に学ぶ職業奉仕 真実かどうか? <DVD>」

亀岡RC 2010

●申込先: 亀岡RC FAX (0771) 25-2151

「ロータリー情報マニュアル第3版」D.2650 2010 786p

●申込先: 淵上勝夫 FAX (0779) 87-2560

「新作講談『日本のロータリー創始者・米山梅吉翁一代記』

<DVD> 宝井馬琴 (講談) さいたま新都心RC 2010

●申込先: ロータリー文庫

ロータリー文庫 開館: 午前10時~午後5時 休館: 土・日・祝日

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

http://www.rotary-bunko.jp

訂正

月信4号におきまして誤りがございましたので、この場で訂正させていただきます。 ●2ページ目、ガバナーメッセージ 17行目「地球を育み……」→「地域を育み……」



Kyoto/Nara/Fukui/Shiga

R.I.D.2650

2010-2011

国際ロータリー第2650地区  
2010-2011年度 ガバナー 栗田幸雄

ガバナー事務所 ● 〒600-8216 京都市下京区塩小路通烏丸西入東塩小路町614番地 新京都センタービル5階520号室  
TEL: 075-353-2650 FAX: 075-343-2651 Email: gov2010-11@rid2650.jp